

2026年5月7日(木)午前9:00からCRTスタジオで収録

歴史の学び方を考える

開倫塾

塾長 林明夫

<はじめに>

皆様は、今年のGWはどのようにお過ごしになりましたか。今年は、いくつかイベントに参加、有意義でした。

- 4月30日(木)東京ドームで、巨人・広島戦を観戦
- 5月1日(金)栃木県立足利高校創立117周年記念式典、JAXAの宇宙技術者の記念講演会(足利女子高卒業生)
- 5月3日(日)足利高校合唱部・吹奏楽部合同演奏会(足利市民プラザ)
- 5月6日(水)群馬県立館林県立美術館、細密画の極致、「プチファール熊田千佳慕の世界、愛するからこそ美しい」
*「ロダンの弟子、フランソワ・ボンポンのアトリエ」も趣がありました。ぜひご訪問ください。

<歴史の学び方を考える>

- (1)例えば、2026年のNHK大河ドラマで「信長」や「秀吉・秀長の豊臣兄弟」を見て、歴史は面白いと感じたら、是非、ドラマを見ながら、信長・秀吉・家康の活躍した時代の歴史を学んでみることをおすすめします。
- (2)身近にあるマンガで、この時代や、この3人を扱っているものがあれば、ぜひお読みください。
 - ①「マンガ日本史」や「マンガ信長」「マンガ秀吉」「マンガ家康」
 - ②「マンガ戦国時代」「マンガ安土・桃山時代」「マンガ江戸時代」
 - ③多くの学校図書館、公共図書館にもあります。

○日本の「歴史マンガ」は、とても、ていねい、親切、わかりやすく、役に立ちます。美しく、美術作品、文藝作品といえるものもたくさんあります。
- (3)「信長」「秀吉」「家康」が描かれている「歴史小説」にもぜひご挑戦ください。おすすめは、30年前のNHK大河ドラマの原作、堺屋太一著「秀吉、夢を超えた男(上・中・下)」です。
 - ①人名や地名には、印をつける、線を引く。
 - ②年号が出てきたら、西暦に直し、本文の上の方にメモ。(月や日の、メモ)
 - ③地名が出てきたら、「歴史地図帳」で確認。
 - ④「日本史年表(岩波書店版)」で年号・西暦を確認。

○大河ドラマに合わせて、行きつ戻りつ、ゆっくり、一語一語、かみしめるように読むと、よくわかります。

(4)歴史小説を読んでから「高校日本史」の「参考書」「詳説日本史研究」(山川出版)を読むと、参考書の内容が驚くほどよくわかります。

(5)以上の後、高校の日本史教科書、例えば、「詳説日本史」(山川出版)をていねいに読むと、「教科書の一行一行、一文一文が、驚くほどよくわかります。

(6)山川出版の「詳説日本史(英語版)」を音読練習すると英語の勉強にもなります。

(7)信長が、日本の歴史の中で果たした役割とは何か。小室直樹著「信長、近代日本の曙と資本主義の精神」ビジネス社(2010年6月2日刊)などにも目を通すと、もう一度、勉強したくなります。

(8)地元の美術館や博物館を訪れ、この時代の作品や展示を実際にご覧になると、さらに興味が深まります。

(9)信長や秀吉、家康にちなむ土地を訪問、お城や戦跡、地形を実際にご覧になると、胸に迫るものがあります。

○シュミレーションゲームが好きな方は、「信長の野望」にもご挑戦ください。(30年以上前に発売され、2年ごとにバージョンアップ、超人気のようです)

<おわりに>

(1)歴史を学び、「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ことを目指しましょう。

(2)学校の授業中、先生の授業をお聞きし、友達の見解を聞き、自分の意見を発表する。

(3)地元の歴史、日本の歴史、各国・各地域の歴史について、また、これからのこと、将来について、少しずつでも、ゆっくり学び、多くの人々の考えを聞き、自分はどうか考えたらよいか、ゆっくり、時間をかけ考える。

○信長や秀吉、家康が遺したもの何かを、ぜひお考えください。秀吉の弟、秀長が果たした役割は何かも、ぜひお考えください。